

## 令和5年度 各種補助事業 事業報告

## 1. 事業目的

都市化が進む中で、本市の都市農業が健全に維持・発展していくよう、農業者への各種支援事業を通して、効率的で安定的な農業経営を確立する。

## 2. 実施実績、予算現額及び支出済み額（令和5年12月28日時点）

	補助事業	予算現額(円)	支出済み額(円)
1	<b>農産物等PR事業負担金</b> 市川市農産物等普及協議会への負担金支出。	700,000	700,000
2	<b>農業青少年グループ活動育成事業補助金</b> 市川市農業青少年クラブへの補助。	200,000	0
3	<b>園芸用廃プラスチック処理事業補助金</b> 市川市園芸用廃プラスチック対策協議会への補助。	349,000	349,000
4	<b>減農薬栽培推進事業補助金</b> コンフューザーN（性フェロモン材）導入に関して、減農薬栽培に取り組む市内農業者への補助。	1,800,000	1,519,000
5	<b>農業近代化資金利子補給金</b> 農業近代化資金に関して、融資機関への利子補給。	326,000	0
6	<b>施設園芸支援事業補助金</b> 施設園芸における施設の新設や環境保全型の改修をする市内農家への補助。	10,451,000	8,841,000
7	<b>市民農園開設等支援事業補助金</b> 市民農園利用者が使用する設備整備に関して、開園者への補助。	150,000	0
8	<b>多目的防災網設置事業補助金</b> 多目的防災網の設置に関して、市内農業者への補助。	(令和4年度分) 93,959,000  (令和5年度分) 78,284,000	(令和4年度分) 0  (令和5年度分) 0

## 令和5年度 市川市農産物等普及協議会 事業報告

## 1. 事業目的

市川市では、県下でも有数の産出額を誇る梨をはじめ、野菜や花きなどが生産されている。こうした高品質な農産物を広く市民に PR し、取れ立て新鮮な農産物の地産地消を推進するため、更なる普及促進を図るとともに、農産物の価値向上に繋げるもの。

## 2. 事業内容

## (1) 「市川のやさい」フェア

例年実施している「市川とまと」フェアを拡大し、市川地方卸売市場のイベント「いちかわごちそうマルシェ」に合わせて、トマトを含む様々な農産物の PR 販売を実施。

また、新ブランド「いちベジ」を周知するため、オリジナルエコバックを製作し、購入した市民へ配布。

- 1) 日時：令和5年5月27日（土）
- 2) 場所：市川地方卸売市場
- 3) 来客数：440人

## (2) 「市川のなし」フェア

市川市、JAいちかわ等の協力で、地域ブランドの「市川のなし」の PR 販売等を実施。

- 1) 実施日・実施場所：
  - ①令和5年8月5日（土） 東京メトロ東西線行徳駅
  - ②令和5年8月10日（木） 市川市役所第1庁舎
- 2) 実施内容：「市川のなし」販売及び直売所マップの配布
- 3) 来客数：来場者数：556人（①314人、②242人）

## (3) 市川産花の展示会

JAいちかわ花き部会の協力で、市内産の花きの展示を行うとともに、花の直売所マップの配布を実施。

- 1) 実施日：令和5年11月23日（木）～11月29日（水）
- 2) 実施場所：①市川市役所第1庁舎  
②市川市役所行徳支所  
③中央図書館
- 3) 実施内容：シクラメン、蘭等の花き展示、花の直売所マップの配布

#### (4) 第11回市川市農水産まつり

市川産農水産物の魅力をPRするため、新鮮な野菜やホンビノス貝の販売をはじめとする各種イベントを実施。

1) 実施日：令和5年12月9日（土）

2) 実施場所：JAいちかわ行徳支店駐車場

3) 実施内容：①野菜等農産物の販売

②ホンビノス貝の販売

③食生活改善推進員による秋冬野菜レシピの配布

④満点エコボカードによるシクラメンの交換、野菜の割引

⑤和洋女子大学・市川市農業青少年クラブによる特別販売

⑥千葉伝統郷土料理研究会による太巻き祭りずしの展示

⑦キッチンカーによるカレー販売

4) 来客数：453人

# 「地域計画」について

市川市都市農業振興対策協議会

1

## 内容

- 1 地域計画とは何か？
- 2 なぜ策定するのか？
- 3 策定に伴う注意点
- 4 策定までの流れ

2

# 1 地域計画とは何か？

地域ごとに座談会を開催し、農家同士で現状や課題を明確にし、5年後、10年後の地域農業の在り方を明確にしていく

「農地の利用計画」です！

座談会の様子



3

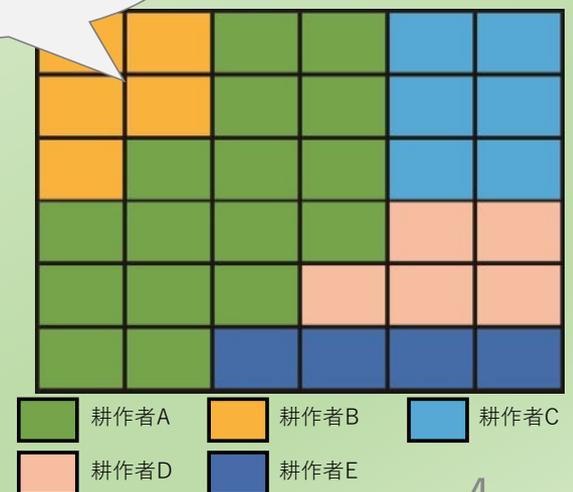
# 1 地域計画とは何か？

地域計画では大きく分けて次の4つの事項と目標地図を定めます。

- (1)地域における農業の将来の在り方
- (2)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標
- (3)農業者及び区域内の関係者が(2)の目標を達成するために必要な措置
- (4)地域内の農業を担う者(目標地図に位置づける者)

農地1筆ごとに  
耕作者を定めます。

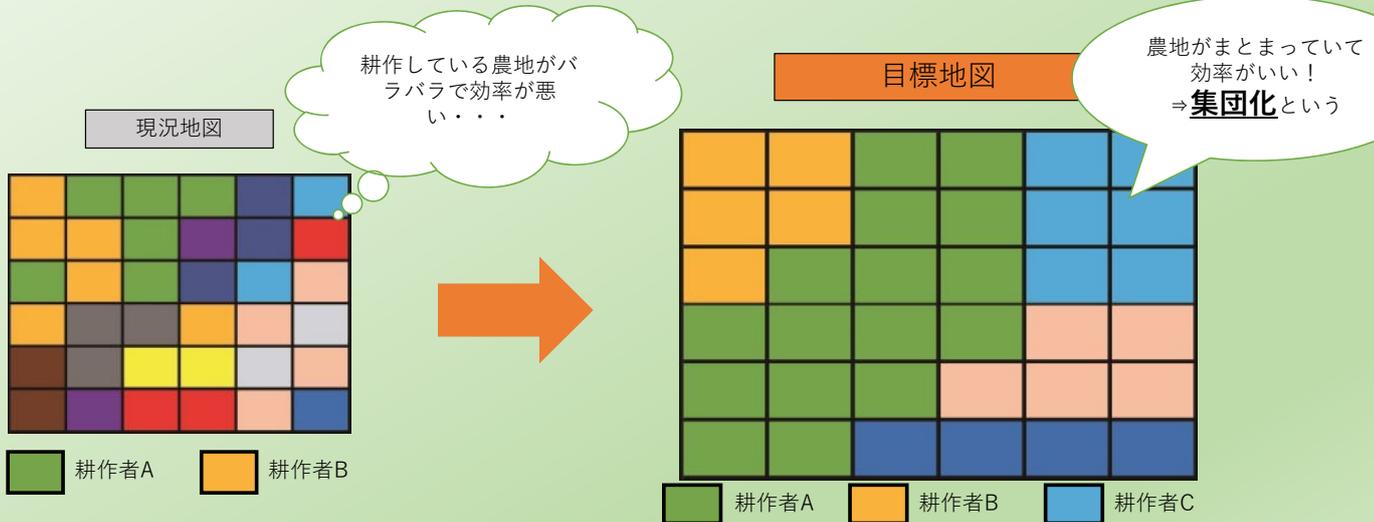
目標地図



4

# 1 地域計画とは何か？

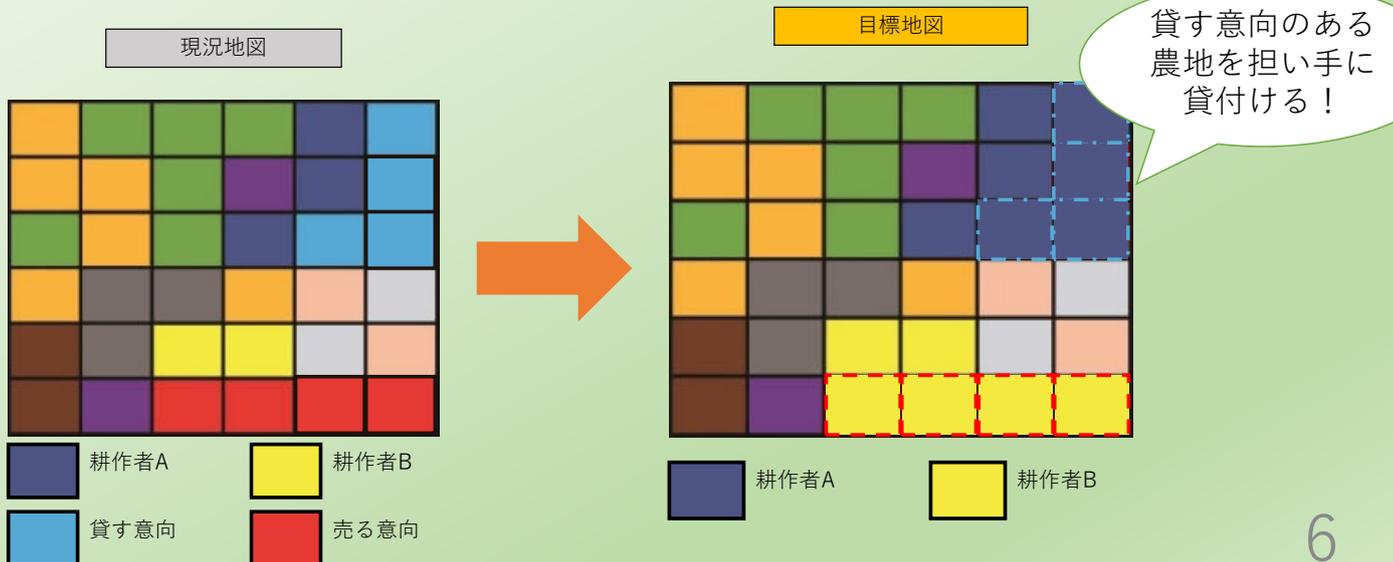
国は下記の地図のように農地を貸借等で交換し、  
集団化することを求めているが、市川市は樹園地が多く難しい・・・



5

# 1 地域計画とは何か？

そのため市川市では、無理に集団化せず、今後貸す意向のある農地を  
明確にし、担い手に貸付ける等、遊休農地の発生を防止する方向で検討  
していきます。



6

## 2 なぜ策定するのか？



これらの課題を解決するため、市街化調整区域は  
地域計画の策定が義務化されました！  
市川市では農業振興地域である  
大町・大野町地区から策定を目指します。

7

## 2 なぜ策定するのか？

地域計画を策定することにより、**国の補助事業等が使える！**  
**⇒策定しないと活用できない補助金が出てしまう。**

### 【補助事業等の例】

- ・強い農業づくり総合支援交付金（産地基幹施設等支援タイプ）
- ・スーパーL資金金利負担軽減措置
- ・農業近代化資金金利負担軽減措置
- ・農業経営基盤強化準備資金
- ・新規就農者育成総合対策（経営開始資金・経営発展支援事業）

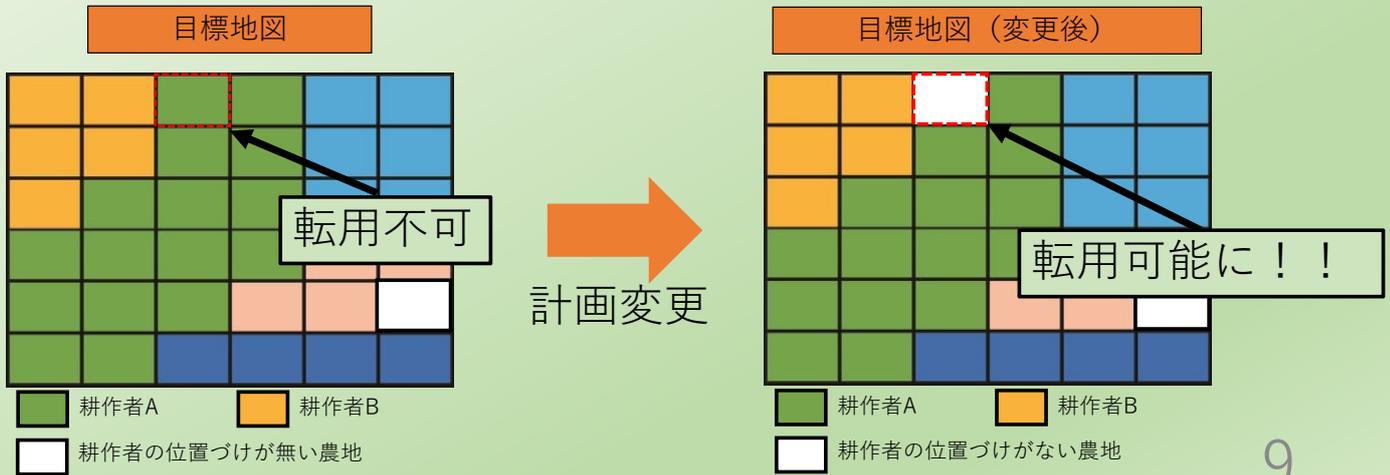
など

8

### 3 策定に伴う注意点

目標地図に耕作者が位置付けられている農地は、農地以外への転用が出来ない！

ただし、地域計画の変更を行い、耕作者の位置づけを外すことで転用は可能。



9

### 4 策定までの流れ

- 1 • アンケート  
農地所有者全員に今後の農地利用意向や後継者の有無を調査。
- 2 • 現況地図作成  
農地の現況（耕作者、貸付け意向等）が一目で分かる地図を作成。
- 3 • 主要耕作者への事前調査  
アンケート結果を基に作成した地域計画(案)に対する意見調査。
- 4 • 座談会  
地域の農家同士で10年後の農業の在り方について話し合いを行う。
- 5 • 地域計画策定

10

## 火傷病（かしょうびょう）への対応について

### 1. 経緯

中国で「火傷病」が発生したことにより、国が中国からの梨花粉の輸入を停止したため、輸入花粉に代わる自家採取の取り組みを行政等で支援するもの。

### 2. 国・県の対応

国・県では火傷病の発症を防ぐため、各農家や輸入業者、販売業者から保管中の中国産梨花粉の「買上」「回収」「廃棄」を実施。

### 3. 本市の取組について

#### （1）梨の花摘みボランティアの実施

##### ①ボランティアの募集

花粉の自家採取が必要となったことから、花粉採取の人手不足を補うため、広くボランティアを募集。

##### ・ボランティア募集期間・方法

令和6年1月20日（土）～2月9日（金）

広報いちかわ1月20日号、市公式ウェブサイト、SNS（X、LINE、Facebook）に掲載

##### ・活動期間

令和6年3月25日（月）～4月7日（日）

##### ・参加条件

ア) 18歳以上の方

イ) 令和6年3月3日（日）、3月7日（木）のいずれかの事前研修を受講した方

##### ②ボランティアの要望調査

市内梨農家194件に対しボランティアの要否の要望調査を実施。

要望農家 8件（1月18日現在）

#### （2）補助事業の実施

市内梨農家を対象に補助事業の要望調査を実施し、花粉採取に使用する開薬器、花粉精選機等への補助を県と市で令和5年度事業として実施を検討。

対象 21件